

3

六年生の山田さんの学級では、「一休さんとんち話^{※1}」という本を読んで、紙しばいを作り、一年生に読み聞かせをすることにしました。そこで、山田さんのグループでは、その本の中から次の【びょうぶのとらのお話】を選び、場面の様子を【四枚の絵】に分けてかきました。あとの問いに答えましょう。

【四枚の絵】

【びょうぶのとらのお話】

の中の1から5までは、まとまりを表しています。

〈絵1〉



一休さんと、とのさまの話です。
とのさまは、とんちで有名な一休さんを少し困らせてみようと思いい、一休さんをおやしき呼びました。そして、
「これこれ一休。たのみたいことがあるが、聞いてはくれぬか。」
「はい、なんでしょう。」
とのさまは、おそろしいとらの絵がかいてある、びょうぶを指さして、
「実は、このとらじゃ。毎晩飛び出しては、やしきの中を暴れ回るのだ。
一休、このとらを暴れぬように、しばりあげてはくれぬか。」
と言いました。

1 一休さんは、それを聞くと、

「かしこまりました。」

と言って、さつと立ち上がりました。そして、

「では、とらをしぼりあげるためのなわを貸してください。」

と言いました。とのさまは、家来に言いつけてなわを持って来させました。一休さんは、なわを受け取り、広間のすみに下がりました。

2 どのさまと家来は、言われるとおりにしました。一休さんが、何を始めるのかと思いましたが、とりあえずびょうぶの裏に行きました。そして、にやにや笑いながら、様子を見ていました。

3 一休さんは、はちまきをしめ、たすきをかけて身じたくを整え、いよいなわを手を持ち、びょうぶの前に進み出ました。それから、足をふんばり、びょうぶの前で構えて言いました。

「やい、とらめ。とのさまの言いつけでお前をしぼりあげるぞ。さあ、出て来い。勝負だ。」

4 一休さんは、大まじめです。とらは、もちろん出て来ません。

「さては、おそれをなしたか。とらめ、出て来ないな。」
そう言うてから、

「びょうぶの裏の家来の方々、そこで大声をあげて、とらを追い出してください。出て来ないとしばれませんか。」

5 「何を言うか、一休。絵のとらが、追い出せると思うか。」
と言いました。

「それはおかしい。先ほどのさまは、このとらが、毎晩飛び出して暴れ回る、とおっしゃいました。ひとり飛び出すくらいですから、家来の方々に追いつけないわけがないでしょう。」
「ううむ。」

とのさまは、うなづいて何も言えなくなっていました。

一休さんは、続けて、
「それとも、晩にならないと、出て来ないのでしょうか。でしたら、今夜、もう一度やり直しましょうか。」

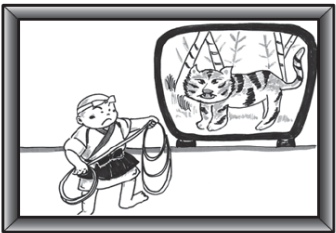
それを聞いて、とのさまは、
「もうよい。わしの負けじゃ。」

と言いましたとさ。

〈絵4〉



〈絵3〉



〈絵2〉



※ 問題は、次のページに続きます。

※1 「とんち」……その場ですぐに出るちえのこと。
※2 「びょうぶ」……部屋の中に立てて、かざりや仕切りなどにするもの。

一 山田さんのグループの三人は、だれが、どの場面を読むのかについて話し合っています。次の【話し合いの様子①】をよく読んで、あとの（問い）に答えましょう。

【話し合いの様子①】



山田 【びょうぶのとらのお話】の内容と【四枚の絵】とを関係付けながら考えよう。

～（絵1）についての話し合い…省略）～



小川 【びょうぶのとらのお話】の中の の部分を、（絵2）と（絵3）に分けてかいたよね。（絵3）の始まりをどこにしたのか確認かくにんしてみよう。

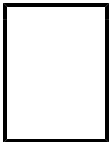


高木 （絵2）は「一休さんとのさま、家来とがやりとりをしている場面」、（絵3）は「とらを追い出そうと動き始めた場面」にしたよね。

～（話し合いが続く）～

（問い） （絵3）の場面は、【びょうぶのとらのお話】の の中の1から5までのどこから始まりますか。最も適切なもの一つ選んで、その番号を書きましょう。

解答らん



平成27年度

B3

一

3

六年生の山田さんの学級では、「一休さん^{※1}とんち話」という本を読んで、紙しばいを作り、一年生に読み聞かせをすることにしました。そこで、山田さんのグループでは、その本の中から次の【びょうぶ^{※2}のとらのお話】を選び、場面の様子を【四枚の絵】に分けてかきました。あとの問いに答えましょう。

【四枚の絵】

【びょうぶのとらのお話】

の中の1から5までは、まとまりを表しています。

〈絵 1〉



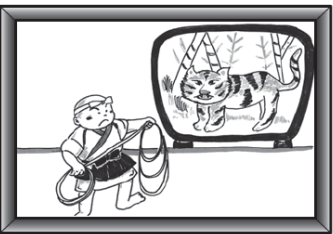
一休さんと、とのさまの話です。
とのさまは、とんちで有名な一休さんを少し困らせてみようと思いい、一休さんをおやしきに呼びました。そして、
「これこれ一休。たのみたいことがあるが、聞いてはくれぬか。」
「はい、なんでしょう。」
とのさまは、おそろしいとらの絵がかいてある、びょうぶを指さして、
「実は、このとらじゃ。毎晩飛び出しては、やしきの中を暴れ回るのだ。
一休、このとらを暴れぬように、しばりあげてはくれぬか。」
と言いました。

〈絵 2〉



1 一休さんは、それを聞くと、
「かしこまりました。」
と言って、さつと立ち上がりました。そして、
「では、とらをしぼりあげるためのなわを貸してください。」
と言いました。とのさまは、家来に言いつけてなわを持って来させました。一休さんは、なわを受け取り、広間のすみに下がりました。
「では、これから、とらをしぼりあげます。とのさまや、家来の方々は、びょうぶの裏に回ってください。とらが飛びかかるといけませんから……。」
2 とのさまと家来は、言われるとおりにしました。一休さんが、何を始めるのかと思いましたが、とりあえずびょうぶの裏に行きました。そして、にやにや笑いながら、様子を見ていました。

〈絵 3〉



3 一休さんは、はちまきをしめ、たすきをかけて身じたくを整え、いよいなわを手を持ち、びょうぶの前に進み出ました。それから、足をふんばり、びょうぶの前で構えて言いました。
「やい、とらめ。とのさまの言いつけでお前をしぼりあげるぞ。さあ、出て来い。勝負だ。」
4 一休さんは、大まじめです。とらは、もちろん出て来ません。
「さては、おそれをなしたか。とらめ、出て来ないな。」
そう言うてから、
「びょうぶの裏の家来の方々、そこで大声をあげて、とらを追いつけてください。出て来ないとしばれませんか。」

〈絵 4〉



5 「何を言うか、一休。絵のとらが、追いつけると思うか。」
と言いました。
「それはおかしい。先ほどのさまは、このとらが、毎晩飛び出して暴れ回る、とおっしゃいました。ひとり飛び出すくらいですから、家来の方々に追いつけないわけがないでしょう。」
「ううむ。」
とのさまは、うなづいて何も言えなくなっていました。
一休さんは、続けて、
「それとも、晩にならないと、出て来ないのでしょうか。でしたら、今夜、もう一度やり直しましょうか。」
それを聞いて、とのさまは、
「もうよい。わしの負けじゃ。」
と言いましたとさ。

※1 「とんち」……その場ですぐに出るちえのこと。
※2 「びょうぶ」……部屋の中に立てて、かざりや仕切りなどにするもの。

※ 問題は、次のページに続きます。

一 山田さんのグループの三人は、だれが、どの場面を読むのかについて話し合っています。次の【話し合いの様子①】をよく読んで、あとの（問い）に答えましょう。

【話し合いの様子①】



山田 【びょうぶのとらのお話】の内容と【四枚の絵】とを関係付けながら考えよう。

（絵1）についての話し合い…省略）



小川 【びょうぶのとらのお話】の中の の部分を、（絵2）と（絵3）に分けてかいたよね。（絵3）の始まりをどこにしたのか確認^{かくにん}してみよう。



高木 （絵2）は「一休さんとのさま、家来とがやりとりをしている場面」、（絵3）は「とらを追い出そうと動き始めた場面」にしたよね。

（話し合いが続く）

（問い） （絵3）の場面は、【びょうぶのとらのお話】の の中の1から5までのどこから始まりますか。最も適切なもの一つ選んで、その番号を書きましょう。

解答らん

3